

試験問題および解答紙

科目名 M4 腫瘍・輸血・血液学

<1>49 歳の男性。トラック運転手。大腸がんの肝転移のために化学療法開始予定。トラックの運転はつらいが事務的な仕事は何とかこなせる。Performance Status はどれか。

- a. 0
- b. 1
- c. 2
- d. 3
- e. 4

<2>erbB-2 (HER2) は細胞表面に存在する 185kDa の糖タンパクで受容体チロシンキナーゼであり、それをコードする遺伝子は 17 番染色体に存在し、がん遺伝子である。本タンパクが 20~30%に過剰発現し、その抗体薬である Trastuzumab が有効であるがんはどれか。

- a. 大腸
- b. 膵臓
- c. 食道
- d. 乳房
- e. 肺

<3>細胞周期の調節因子として適切なものはどれか。2 つ選べ。

- a. ラミニン
- b. チトクローム C
- c. サイクリン依存性キナーゼ
- d. マトリックスメタロプロテアーゼ
- e. Rb 遺伝子産物

<4>がんの増殖・浸潤について不適切なものはどれか。2 つ選べ。

- a. 上皮内癌は血管侵襲性が強いので、遠隔転移の可能性が高い。
- b. 癌性腹膜炎は播種の代表である。
- c. がん細胞の浸潤にはインテグリンやマトリックスメタロプロテアーゼが関与する。
- d. センチネルリンパ節は、がん巣より出たリンパの流れが最初に到達するリンパ節である。
- e. ウィルヒョウ (Virchow) 転移は血行性転移の代表である。

<5>アルコール摂取がリスクを高めるのはどれか。2 つ選べ。

- a. 喉頭癌
- b. 肺癌
- c. 胃癌
- d. 胆嚢癌
- e. 乳癌

<6>野菜摂取が予防的なものはどれか。2 つ選べ。

- a. 食道癌
- b. 胃癌
- c. 肝癌
- d. 乳癌
- e. 膀胱癌

試験問題および解答紙

科目名 M4 腫瘍・輸血・血液学

<7>61歳男性。前立腺がん、cT2aNOMO、初期PSA値15ng/dl、グリソンスコア3+3=6の中間リスク群である。根治的治療について誤りはどれか。

- a. 重粒子線治療
- b. 小線源治療
- c. 内分泌単独療法
- d. 強度変調放射線治療
- e. 前立腺全摘術

<8>StageⅢB 非小細胞肺癌の根治的放射線治療について誤りはどれか。2つ選べ。

- a. 化学放射線治療が第一選択となる
- b. 予防的全脳照射の適応がある
- c. 脊髄耐容線量に注意が必要である
- d. 体幹部定位放射線治療が適応となる
- e. 計画的標的容積(planni target volume:PTV)は肉眼的腫瘍容積(gross tumor volume:GTV)と領域リンパ節である

<9>検査対象と画像診断法との組み合わせのうち適当でないのはどれか。

- a. 乳癌脳転移・・・造影CT
- b. 肺癌リンパ節転移・・・FDG-PET/CT
- c. 肝細胞癌・・・造影MR
- d. 食道癌・・・超音波内視鏡
- e. 肺癌・・・HRCT(高分解能CT)

<10>腫瘍と画像所見との組み合わせのうち、誤っているのはどれか

- a. 前立腺癌骨転移・・・CT・・・造骨性変化
- b. 大腸癌・・・逆行性大腸造影・・・辺縁に隆起を伴う全周性狭窄
- c. 胃癌(スキルス)・・・胃透視検査・・・粘膜面の破壊と壁硬化
- d. 甲状腺癌・・・単純写真・・・砂粒状石灰化
- e. 悪性リンパ腫骨髄浸潤・・・FDG-PET・・・骨髄の集積低下

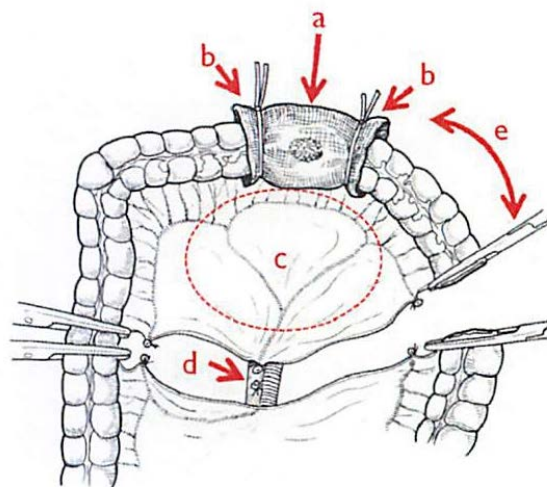
<11>以下の手術の中から根治手術はどれか。2つ選べ。(各手術において切離断後に問題はなかったとする)

- a. 胃前庭部のT1NOMO胃癌に対して、腹腔鏡下幽門側胃部分切除+D1郭清、ビルロートⅡ法再建
- b. 胃のT3N1M0腫瘍の幽門狭窄患者に対して胃空腸吻合術を行なった。
- c. 上行結腸がんT3N2M0腫瘍に対して回腸横行結腸吻合を行なった。
- d. S状結腸がんT3N1M0に対してS状結腸切除+D3郭清を行なった。
- e. 下行結腸がんのT2N3M1腫瘍に対して左結腸切除+D2郭清を行なった。

<12>no touch operationの原則を説明するシエーマを示す(右図)。

漿膜面からの播種性転移を防止する行為はどれか。

- a. 腸管を包む。
- b. 腸管を縛る。
- c. 腸間膜の不接触。
- d. 動静脈の早期処理。
- e. 距離を離れた離断。



試験問題および解答紙

科目名 M4 腫瘍・輸血・血液学

- (13) ADH 分泌不適合症候群 (SIADH) で正しいのはどれか。
- 尿中ナトリウム排泄 30mEq/L
 - アルギニン・バソプレシン低値
 - 細胞外液量著増
 - 血液浸透圧 300mOsm
 - 低カリウム血症
- (14) 胸水が滲出液であるとの判断の根拠はどれか。2つ選べ。
- 色調
 - 胸水中の蛋白/血清蛋白 ≥ 0.5
 - 胸水中のLDH/血清LDH ≥ 0.6
 - 比重 ≥ 1.010
 - 胸水中フィブリン濃度
- (15) 食道癌の疫学について正しいのはどれか。2つ選べ。
- 年齢調整死亡率は男女共に増加傾向
 - 年齢調整死亡率は男女共に低下傾向
 - 年齢調整罹患率は男女共に増加傾向
 - 年齢調整罹患率は男女共に低下傾向
 - 部位別罹患数は男女共に2位
- (16) 胃癌の疫学について正しいのはどれか。2つ選べ。
- 日本では扁平上皮癌が多い。
 - 男女ともに罹患率第一位である。
 - 男女ともに死亡率第一位である。
 - 罹患率は東アジアで高く、欧米で低い。
 - 年齢調整罹患率は減少傾向にある。
- (17) 化学療法のみで治癒が期待できるがん種はどれか。
- 胃がん
 - 大腸がん
 - 非小細胞肺癌
 - ろほう性リンパ腫
 - びまん性大細胞型リンパ腫
- (18) リツキシマブについて正しいのはどれか。
- 小分子化合物である。
 - 正常細胞は傷害しない。
 - モノクローナル抗体である。
 - 腫瘍の微小環境を標的とする。
 - 大腸がんの治療に使用される。
- (19) 5-フルオロウラシルはいずれに分類されるか。
- アルキル化薬
 - 代謝拮抗薬
 - トポイソメラーゼ阻害薬
 - 抗腫瘍性抗生物質
 - ビンカアルカロイド

試験問題および解答紙

科目名 M4 腫瘍・輸血・血液学

(20) アントラサイクリン系抗悪性腫瘍薬の投与規制因子はどれか。

- a. 末梢神経障害
- b. 腎機能障害
- c. 脱毛
- d. 心機能障害
- e. 嗅覚異常

(21) 肺癌について正しいものはどれか。

- a. 小細胞肺癌は非小細胞肺癌と比較して発症率が高い。
- b. 小細胞肺癌ではゲフィチニブが有効である。
- c. 肺癌は男性の部位別癌死亡数の第1位である。
- d. 小細胞肺癌は喫煙との関連性が低い。
- e. 小細胞肺癌は男性よりも女性に発症しやすい傾向にある。

(22) 乳癌について誤っているものはどれか。

- a. 女性の部位別癌罹患率の第1位である。
- b. 罹患率は減少傾向にある。
- c. 乳癌細胞に女性ホルモン受容体が出ている場合、抗エストロゲン薬治療が期待できる。
- d. アロマターゼ阻害薬は閉経後乳癌の治療で使用される。
- e. 抗エストロゲン薬は閉経前乳癌の治療で使用される。

(23) 頭頸部癌の組織型で多いのはどれか。

- a. 扁平上皮癌
- b. 未分化癌
- c. 腺癌
- d. 悪性黒色腫
- e. 粘表皮癌

(24) 胚細胞腫瘍について誤っているのはどれか。

- a. 性腺由来の腫瘍をいう。
- b. 化学療法で治癒可能である。
- c. 高齢者に多い。
- d. 精巣での発症は卵巣の約10倍である。
- e. 転移があれば治療の適応はない。